

はさまれ・巻き込まれ防止対策に 取り組んでまっ堺運動

「はさまれ・ 巻き込まれ」

と災害とは？

機械や設備に体の一部が挟まれたり、巻き込まれたりすることを指します。



プレス機械に手をはさまれそうになった



機械の清掃中に手巻き込まれそうになった

令和5年の製造業における死傷災害件数（全国）

死傷災害 27,194件

死亡災害 138件

はさまれ・巻き込まれ災害

死傷災害 6,377件

死亡災害 50件

厚生労働省「令和5年労働災害発生状況の分析等」

事業者に取り組んでほしいこと

- ・製造時の残留リスク情報の使用者への確実な提供
- ・機能安全の推進により機械等の安全水準を向上
- ・リスクアセスメントの実施結果に基づき合理的な代替措置による安全対策を推進

機械設備の安全対策

危険な可動部分に覆いや柵を設置することや、機械設備の定期点検と保守を徹底することが重要です。（柵・インターロックや非常停止装置の設置。機械の保守点検で故障などの早期発見も重要です。）

作業手順の徹底

安全な作業手順を確立し、それを労働者全員に周知徹底することが重要です。（作業手順書の作成、作業開始前点検の実施と、定期的な見直しと改善を行いましょう。）
作業手順を徹底し、安全作業を行い、事故リスクを減少させましょう。

安全教育の実施

定期的な安全教育を行い、労働者が常に最新の安全知識を持つようにすることが重要です。（雇入時・作業転換時の教育、定期的な研修等を実施し、労働者の作業環境で潜在的な危険を認識し、適切に対応できるようにすることも効果的です。）

はさまれ・巻き込まれ災害防止のためのチェックリスト

項目		着眼点	☑
1	原動機、回転軸、プーリー、ベルトなどには安全カバー、安全柵、囲いなどを設けていますか。	手や指などが入る危険箇所は、全体を覆うことが有効であり、また、カバーを開けると停止するインターロックなど本質的安全化を推進することが重要です。	<input type="checkbox"/>
2	回転軸、歯車、プーリーなど回転物に付属する止め具は埋頭型か、平滑な覆いで直接防護していますか。	回転部分にボルトなどの突出した止め金具があり、これに被服などが引っかかり、回転部分に巻き込まれる事例があります	<input type="checkbox"/>
3	機械には、非常の場合に直ちに運転を停止することができるよう、非常停止装置、急停止装置を設けていますか。	非常停止装置、急停止装置は誰が見てもよくわかるように表示をし、危険箇所ごとに設置しましょう。また、災害発生の場合に被災者自らがその位置で容易に操作できる位置に設置しましょう。	<input type="checkbox"/>
4	共同で機械作業を行うときは、一定の合図を定めて合図者が合図を行っていますか。	起動することを予期していない労働者が、機械に身体の一部を入れたときに、機械が突然動き始めたことによる災害が多発しています。	<input type="checkbox"/>
5	機械の清掃、点検、修理を行うときは機械を停止し、キーをかけ、見やすい箇所に表示板を掛けていますか。	機械の清掃などの作業を行う場合は、必ず機械の電源を切り、確実に運転を停止してから行うことが重要です。 また、起動装置に錠をかけることや、「スイッチを入れるな」等の表示板を取り付け、他の労働者による誤動作を防ぎましょう。	<input type="checkbox"/>
6	巻き取りロールやロール機には囲い・ガイドロールを設けていますか。	巻き込まれると手指を切断するなどの重大な災害となります。危険部分には囲いやガイドロール、光電センサーなどを設けましょう。	<input type="checkbox"/>
7	作業帽、作業服、安全靴を着用していますか。	作業中の労働者の頭髪、作業服の袖、タオルなどが巻き込まれる災害も発生しています。正しい作業服装により、作業をすることが重要です。	<input type="checkbox"/>
8	ボール盤、面取り盤などの作業では手袋の使用を禁止していますか。	回転する刃物などに、作業中の手が巻き込まれることがあることから手袋の使用を禁止し、その旨を機械の見やすい位置に表示しましょう。	<input type="checkbox"/>
9	遠心機械、粉碎機、混合機の内容物を取り出すときは運転を停止していますか。	機械が完全に停止しないと開かない機構とするか、ふたやカバーなどを開ければ速やかに可動部分が停止するブレーキを備えることが有効です。	<input type="checkbox"/>
10	コンベヤーには、巻き込まれないように 囲い、覆いを設けていますか。 また、ロープ式非常停止装置を設けていますか。	コンベヤーの隙間や駆動部に身体の一部が巻き込まれる災害が多発しています。安全柵や覆いを設置するとともに、非常時においてどの位置でも運転を停止できるよう「ロープ式非常停止装置」などを設けましょう。	<input type="checkbox"/>